

科目名	臨床看護概論Ⅱ (症状別看護)				DP2 DP3 DP4 DP6		看護高等課程
学年	1 年	分野	専門 基礎看護 臨床看護概論	時間数	14 時間	担当 教員	浦 恵
科目 概要	主な症状に対する看護の特徴を踏まえ、健康障害を持つ対象に応じた看護を学ぶ。また、事例を通して、適切な看護を実践するための基本的な考え方や知識・技術を統合し探求していく能力を身につけられるように学んでいく内容とした。問題基盤型学習、自己指向型学習、小集団討議、プレゼンテーションなどを活用し学ぶ。						
到達 目標	1. 主な症状とその原因・誘因が対象の日常生活にどのような影響を与えているのか考えることができる。 2. 対象者への看護を考え、看護の実際について理解することができる。						
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員
1～7	症状を示す患者の看護		貧血・出血傾向・ショック状態にある患者の看護			講義 演習	浦
			咳嗽・喀痰・呼吸困難のある患者の看護				
			悪心・嘔吐・嚥下困難のある患者の看護				
			排尿・排便障害のある患者の看護				
			黄疸・脱水・浮腫・発熱、痛みのある患者の看護				
			感覚障害のある患者の看護				
			意識障害のある患者の看護				
	主な症状に対する看護		各症状別の事例検討・討議			講義 演習	
	まとめ		事例発表			発表	
試験					試験		
評価 基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。 また、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	看護学入門 7 基礎看護Ⅲ 臨床看護概論 疾患別看護過程の展開 学研、看護過程に沿った対象看護 学研 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							